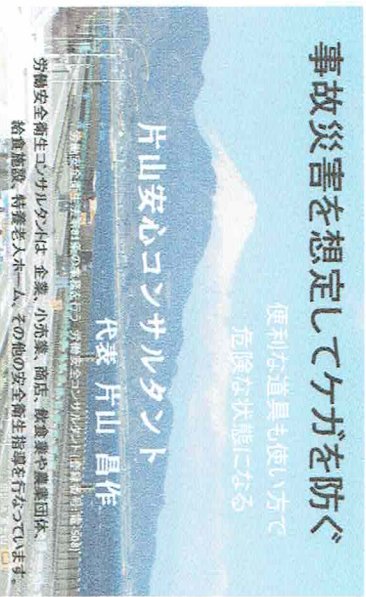


# 事故災害を想定してケガを防ぐ

便利な道具も使い方で  
危険な状態になる



## 片山安心コンサルタント

代表 片山 昌作

労働安全衛生コンサルタント 片山昌作事務所 代表取締役 片山昌作  
 始業施設 特産を入ホ一人、その他の安全衛生指導を行なっています。

浜波デスノ 浜波市杉木4-73 電話 0763-58-5258  
 福野 富山県南砺市八家188

ホームページ <http://anshin39.com/>

2015年度

## なんと市民学遊塾

・6月3日～11日 19:40～20:50

福野文化創造センター ヘリオス セミナールームA

日程	内容	備考
6/3(水)	1. はしご、脚立からの墜落防止	
4(木)	2. 丸ノコ、チェーンソー	
5(金)	3. 電気ドリル、ボール盤、電動工具	
10(水)	4. 草刈り(刈払)機、他	
11(木)	5. 台車の使用、 SSI(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)	

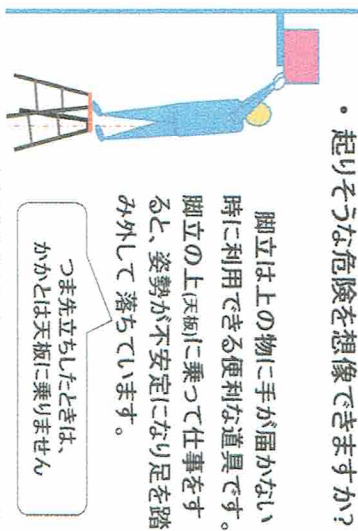
ホームページ <http://furusato.com/>



# 1. はしご・脚立からの墜落防止(落ちる)

## 脚立で作業、危険の認識

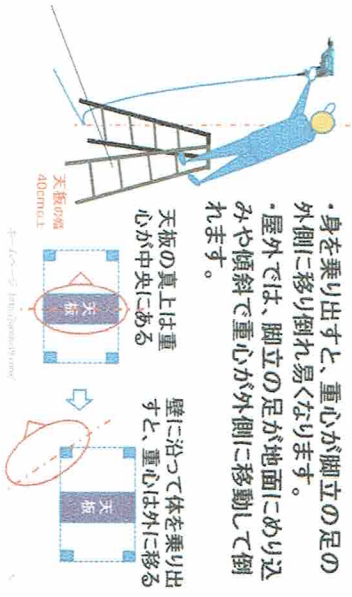
・起りそうな危険を想像できますか？



脚立は上の物に手が届かない時に利用できる便利な道具です。脚立の上天板に乗って仕事をすると、姿勢が不安定になり足を踏み外して落ちていきます。

## 脚立で作業、危険の認識

・起りそうな危険を想像できますか？

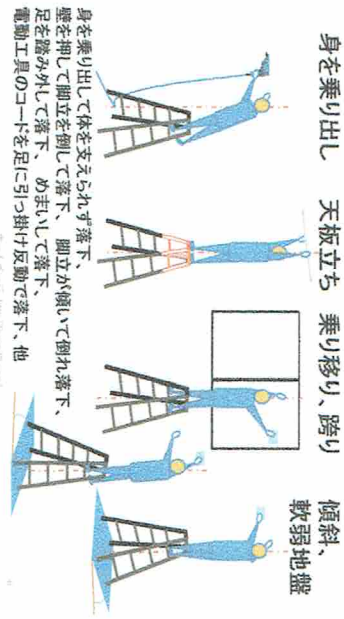


・身を乗り出すと、重心が脚立の足の外側に移り倒れ易くなります。  
 ・屋外では、脚立の足が地面にめり込みや傾斜で重心が外側に移動して倒れます。

壁に沿って体を乗り出すと、重心は外に移る

## 脚立で作業、危険の認識

・危険を想像してみる (押し倒し、踏み外し、落下)



傾斜、軟弱地盤

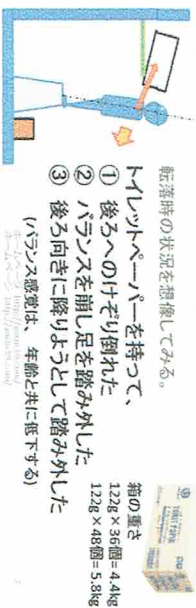
## 周囲の状況(足元)や体カモ

トイレットペーパーを取ろうと...温泉従業員、脚立から転落し死亡

2014.3.30 産経ニュースから

3月29日 午前10時50分ごろ、奈良県の温泉施設のボイラー室で頭から血を流して死んでいる70才の男性が発見された。病室に搬送され死亡が確認された。その男性は、棚の上のトイレットペーパーを取ろうとして、高さ1.1mの脚立から転落したものとみられている。

転落時の状況を想像してみる。



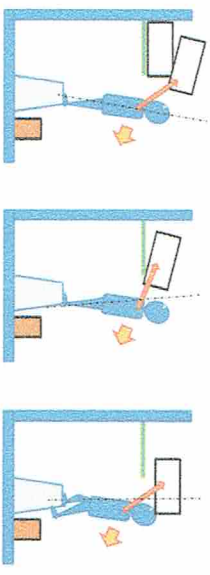
トイレットペーパーを持って、  
 ① 後ろへのけぞり倒れた  
 ② バランスを崩し足を踏み外した  
 ③ 後ろ向きに降りようとして踏み外した (バランス感覚は、年齢と共に低下する)



箱の重さ  
 1228×36(個)=4.4kg  
 1228×48(個)=5.3kg

## 転落時の状況を想像してみる

トイレットペーパーの箱を持って1と仮定して、



① 頭上に箱を掲げ、後ろへのけぞり倒れた  
 ② 箱を持ち上げ抱えてバランスを崩し、足を踏み外した  
 ③ 後ろ向きに降りて、足が掛らず踏み外した

## 転落防止するためには

危険源：高さ床から1.1m



① 箱の(棚の)高さを低くした  
 ② 踏み台を使い、箱を台に置いて手ぶらで降りる  
 危険源は有るか、両手で対応できるのでケガする可能性は低くなる

高さの危険源は無くなった

危険源は有るか、両手で対応できるの  
 でケガする可能性は低くなる

ホームページ <http://furusato.com/>

ホームページ <http://furusato.com/>







# 危険・有害性の評価

黒文字の×△○は重篤度の判定を示している

記号の並び「重大性」「頻度」「可能性」	ケガするか「可能性」			ケガするかも			ケガしない		
	△	×	○	△	×	○	△	×	○
ヒヤッとするか(頻度)	×	×	×	×	×	×	×	×	×
頻繁・ヒヤヒヤする	×	×	×	×	×	×	×	×	×
ある・ヒヤッとした	△	△	△	△	△	△	△	△	△
ほとんどない	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 対策の程度

本質安全 (保護) 安全防護 情報・表示 組織的管理 保護具

**危険作業をしない・危険有害性の無いものに受える**

- ①危険低減 1.高所作業台を使用する
- ②保護 ハットの上にコンパネを置く
- ③保護 1.杖の上にコンパネを置く
- ④保護 1.手すりのついた作業台 2.床に衝撃吸収材を敷く
- ⑤注意表示 1.加立の約2m以上に赤テープ貼る
- ⑥ルール 1.加立は昇降用 2.周囲の片づけ (突起物無し)
- ⑦保護具 1.ヘルメット 2.服装・靴

2.床は落ちた時にケガの程度を減らす保護具とヘルメット

## 対策を検討する 2/2

対策前(使用・保護具)	対策前			対策後		
	重大性	頻度	可能性	重大性	頻度	可能性
ヘルメット	△	×	△	△	×	△
ヘルメット	△	×	△	△	×	△

# 安全は高所作業台か、保護具か

いろんな対策を考えます

- ⑤注意表示 1.床高さが約2m以上を赤色で表示する
- ④保護 1.手すり付きの作業台 2.床にマット(衝撃吸収材)を敷く
- ⑥ルール 1.加立は昇降に使用する 2.周囲の床に突起物を置かない
- ③保護 1.高所作業台を使用する
- ⑦保護具 1.ヘルメット 2.服装・靴 3.引っかけ、脱げる要素を無くす
- ②保護 1.近づくな 2.踏まない
- ①危険低減 1.高所作業台を使用する
- ③保護 ハット(カバナー)する 1.杖跡の上にコンパネを置く

## 危害を受けそうな事(リスク)を評価 (アセスメント)してその対策を決める

- A) 発見した危険源に対して 脚立から落ちて下の机に背中が当たる。落ちるのは高さが有るからで、落ちない様にする
- B) 対策案を実施したら、発見した危険源のリスクは低下したか 高所作業台を使用すれば、作業中の転落はなくなる。しかし、台への昇降時に踏み外し転落の可能性は有る
- C) 対策案を実施後を想定し、新たな危険な所(リスク)を発見する 高所作業台への昇降時に踏み外し転落の可能性は有る
- D) 最終決定 いくつかの案から最適を選ぶ

## 適切な対策を選ぶ

発見し出した危険の評価	対策案を優先したら			対策案に対する危険の評価			最終決定 実施の優先度
	重大性	頻度	可能性	重大性	頻度	可能性	
ヘルメット	△	×	△	△	×	△	中
ヘルメット	△	×	△	△	×	△	中

# 危険=リスクを無くす、又は低減する

- ① 危険な作業をしない・危険有害性の低いものに受える
  - 本質安全 危険な状態が無い
  - 安全防護 危険に近づけない 触れられない
  - 情報・表示 危険箇所注意銘板
  - 組織的管理・訓練 危険な状態を認識 保護具
- ② 隔離する、停止させる
  - 近づくな、触れな、イカパー等 (近づく、倒れると、過熱して止まる)
- ③ 複数人数(会社)による管理
  - 通路表示(ルール化)、手順書で訓練、危険箇所へ接近禁止、危険の教育
- ④ 個人が保護具を使う
  - 保護具は正しく使って効果出る

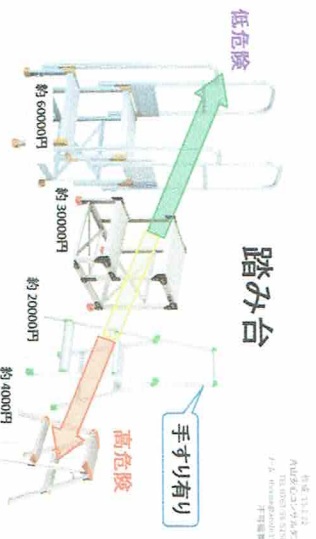
## 対策を検討する 1/2

対策前(使用・保護具)	対策前			対策後		
	重大性	頻度	可能性	重大性	頻度	可能性
ヘルメット	△	×	△	△	×	△
ヘルメット	△	×	△	△	×	△

## 手すり付き作業台を使用する

- ⑤注意表示 1.足元が床高さが約2m以上を赤色で表示する
- ⑥ルール 1.加立は昇降に使用する 2.周囲の床に突起物を置かない
- ⑦保護具 1.ヘルメット 2.服装・靴 3.引っかけ、脱げる要素を無くす
- ①危険低減 1.高所作業台を使用する



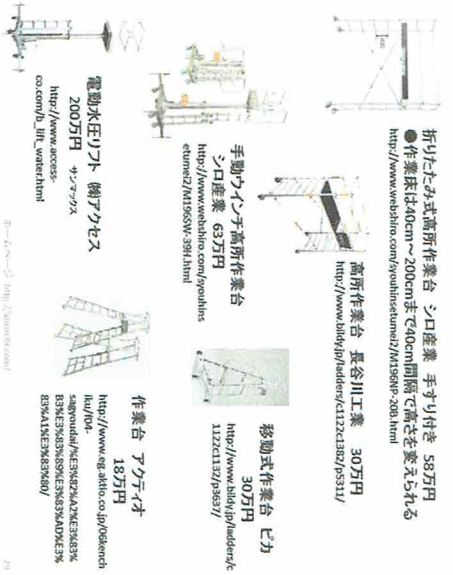
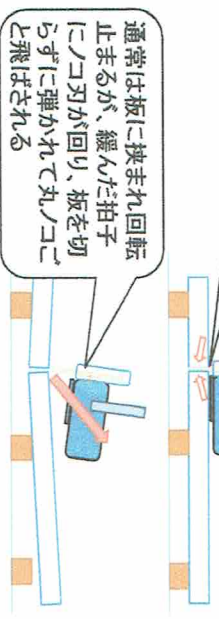


## 踏み台

安全な道具はケガする可能性も低くなる。「ケガの治療に掛る費用」分を先に使って安全な物を選べば、「転ばぬ先の杖」となります。

## 丸ノコで、どうなるのか？

板(材木)を切っている途中から板が丸ノコ刃を両側から挟み込んで、回転にブレーキが掛かる



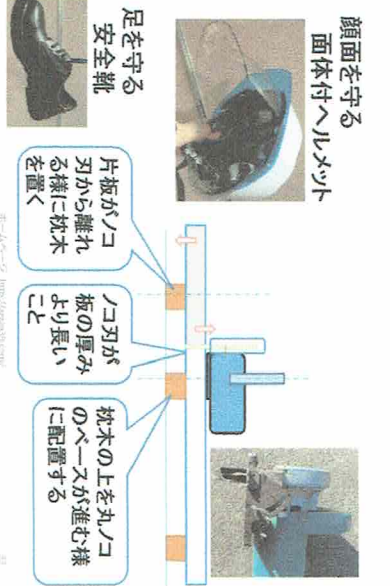
## 板を切る時、反発させない為に

- ①板(材木)の上にノコ刃が板に接触しない様にベース先端を置く(右図)
- ②丸ノコのスイッチを握り3秒程度で回転が安定してから
- ③材木に丸ノコのベースを密着させて押し進む
- ④ノコ刃に強い抵抗を感じたらその場で回転を止めて引き戻す、コンセントを外して板から丸ノコを取りだす

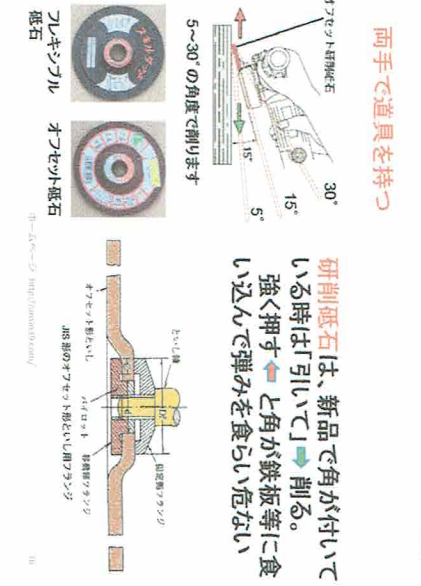
## 2. 丸ノコ・デイスクグラインダの危険防止



## 丸ノコ、板を切るときは？



## デイスクグラインダで削る



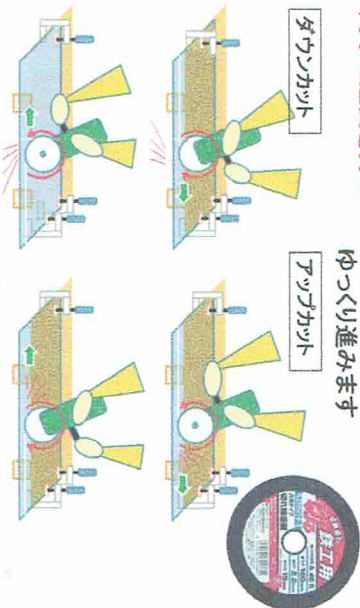


## 切断砥石で切る

砥石の回転速度は、切断砥石の回転速度に合わせる必要があります。

両手で道具を持つ

切断砥石の面に沿って  
ゆっくり進みます



## デイスクグラインダの保護具・他

砥石の回転速度は、デイスクグラインダの回転速度に合わせる必要があります。

推奨は、  
面体付ヘルメット

保護メガネ  
写真はオーバーラップ用

漏電遮断器付の  
電工ドラム・コープ



## デイスクグラインダの注意点

砥石の回転速度は、デイスクグラインダの回転速度に合わせる必要があります。

湿った砥石は割れる可能性が高いので  
乾燥した所に保管する。

砥石を取り付けたら、

① スイッチを入れる前に手で回して、  
かたがり(変心)が無いことを確認する。

② 砥石が割れても顔や体に当たらない様に  
砥石を離して、

③ スイッチを入れて3分間

の空運転(負荷を掛けずに空転)

させるを行って、

脱着砥石が  
眼に入り易い  
作業に入る



## まとめ

砥石の回転速度は、デイスクグラインダの回転速度に合わせる必要があります。

- ・回転体の刃は、身体が触れると簡単に切れてしまいその傷は深い
- ・便利でも、用途外使用で凶器になる
- ・段取りと保護具でケガは減らせる
- ・砥石は乾燥させ、衝撃を加えない(規定以上の周速(大きさ)を含む)

## 軍手、キリ(ドリル)、他

砥石の回転速度は、デイスクグラインダの回転速度に合わせる必要があります。

## 3. 電気ドリル・ボール盤・電動工具の危険防止



## 電気ドリルの事故例

砥石の回転速度は、デイスクグラインダの回転速度に合わせる必要があります。

- ・穴が貫通する直前キリが引つ掛かり、気ドリル本体が廻って手を弾かれた
- ・左手でキリの木屑を取ろうとした時、うっかり右手を握ってしまい電気ドリルのスイッチON!
- ・軍手が鉄板を押さえながら穴明けした時、ポンチ穴からキリが滑り左手に当たり軍手を巻き込んで人差し指をケガした



- ・軍手の繊維が巻き込みの主要因です  
手首はゴムで締め付けて脱け難くする必要があります
- ・しかし、巻き込み事故の多くは指先をねじり絞られながら手のひらまでキリで損傷するものです  
指が残っても筋が切れると指は動かなくなります



## 手袋の問題点

軍手の繊維が切り粉に絡まり巻き込まれる



皮手も指先のたるみが巻き込まれる



## 鉄板厚さ3.2以下の穴明け手順書 1/2

作業内容	作業要領	急所	備考
準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護具(保護メガネ、皮手袋、安全帽)</li> <li>作業台又は枕木、(裏に当てる板、)固定具</li> <li>キリヤ針か鉛筆、ポンチ、キリ(切り、丸ヤスリカリーター)</li> <li>電気ドリルの使用前点検、故障を見つけたら使用せず、修理して使用する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>点検箇所</li> <li>・ブレードのちぎれ(二重歯は無し)</li> <li>・コネクタプラグの曲がり</li> <li>・ブレードキ付きは、手で握らない</li> <li>・水漏れなど無い</li> <li>・破損や異物(半年毎に絶縁抵抗IMΩ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護メガネ</li> <li>皮手袋</li> <li>安全帽</li> <li>キリヤ針</li> <li>ポンチ</li> <li>キリ</li> <li>丸ヤスリ</li> </ul>
鉄板のクガキ	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業台又は枕木へ鉄板を載せる</li> <li>寸法をクガク</li> <li>ポンチを打つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①鉄板の縁にすれで手足を切る</li> <li>②足先へ落として打撲又は切る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>500円</li> <li>140000円</li> <li>2500円</li> </ul>

## ボール盤作業は、手袋をしない

ボール盤の穴明け作業に、手袋をしたらどうなるか?

切粉に軍手が絡まり、回転しているドリルに手を引きこまれます。刃物のような切粉とドリルで手や腕が切り刻まれる。更に良く骨折、絞られて切断、体ごと廻されて周囲の物に突き差して死に至ります。

4以下はキリは折れてメカは軽い可能性高い、キリに絡まった切粉は、回転を止めて棒を使って取り外します。(回転中は切粉が飛んで自身に当たる)

## 生垣(剪定)バリカン



- ①脚立に乗り生垣の剪定をしていて、動かしたまま体の向きを変えた時に指を切った
- ②バリカンの刃間に枝が挟まり取っている時に右手中指を切った
- ③刈り込んだ葉の切りくずが眼に入った

## 兼業農家の草刈

- 兼業農家は
- ・土日の休みに集中的に畦と排水路の草を刈る
  - ・1日2時間から4時間、若さで朝5時から夜7時まで延べ8時間も行なう人をよく聞く
- 疲れずメカをせずにやり終えたい

草刈りをしなくて済むのが一番



## 鉄板厚さ3.2以下の穴明け手順書 2/2

作業内容	作業要領	急所
穴明け	<ul style="list-style-type: none"> <li>(裏に板をめて、)鉄板を固定する</li> <li>クランプで対角や面辺の複数箇所</li> <li>手袋を外して(假いで、)電気ドリルのスイッチをOFFにしてキリを付け、電源コンセントにつなぐ</li> <li>電気ドリルを両手で持ち、キリの先端をポンチ穴に垂直に押し当て、スイッチを連リONする</li> <li>回転が2〜3秒で上がり、ドリルを押し込む</li> <li>穴の明ききわ、一度押す力を握めて子ヤツクの先端が鉄板に当たらない様に押しして貫通させる</li> <li>スイッチをOFFにしてコネクタを外し、</li> <li>電気ドリルからキリを外してホルダに戻す</li> <li>皮手袋をはじめ、鉄板の固定を外す</li> <li>丸ヤスリカリーターで、両面から穴のバリを取る</li> <li>切粉を清掃し鉄板を移動、道具類を元に戻す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>③ONのままコンセントにつなぐと回り出して危ない</li> <li>④電線コードを手に握かない、周囲の人にコードを引つ掛けられない様にする</li> <li>⑤キリが喰い付く本体が回転し手を強く</li> <li>⑥キリに着いた切粉はOFFにしてコネクタを外し、道具で取る</li> <li>⑦切粉は埃を飛ばさないこと、眼に入る</li> </ul>
バリ取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>切り粉が</li> <li>電気ドリルからキリを外してホルダに戻す</li> <li>皮手袋をはじめ、鉄板の固定を外す</li> <li>丸ヤスリカリーターで、両面から穴のバリを取る</li> <li>切粉を清掃し鉄板を移動、道具類を元に戻す</li> </ul>	

## まとめ

- ・軍手は穴明け作業(電気ドリル・ボール盤)に使用しない
- ・加工物はバイスやクランプを使って固定する
- ・電気ドリルは両手で持つ
- ・キリに付いた物は、コンセントを外し電源が切れた状態で道具を使って取る

## 畔草刈り前、準備(保護具)

- ① 防護面・ヘルメット
- ② 長袖・長ズボン
- ③ (皮)手袋
- ④ 前掛け
- ⑤ 長靴(すね当て)・滑り止め

保護メガネは顔(頬)に飛び散った物が当たるととても痛い

軍手は細み目の粗い物は飛来物が指の間を通り手に当たり痛い

すね当ては、足首の側面までを覆うものを選んでください。特に夏は疲労が激しいので歩幅を小さくします

特製防草用ハイボーンズ M1571 (外尺 900g)



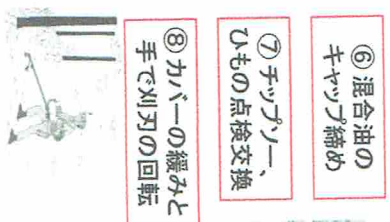


# 畔草刈り前、準備(機械)

⑥ 混合油のキヤッチ締め

⑦ チョップソー、ひもの点検交換

⑧ カバーの緩みと手で刈刃の回転



早めの交換  
チョップソーの使用限度は、飛び散った箇所が1/5を超えた頃、振動が激しくなり手が痺れる。よって強力低下し、ケガのもとになる



# テストした草刈り機



刈刃の下に紐が有ると自身への飛来物は減るも緩れやすい

# 草刈法面の対策を選ぶ

評価	ケガをした時の重傷度	危険回避の頻度	ケガをする可能性
×	死亡・重傷	頻繁にヒヤヒヤする	確実にケガする
△	中程度のケガ・病気	あるヒヤヒヤした	ケガするかもしれない
○	打ち身や少し腫り傷すり傷、ほとんどないヒヤヒヤとしない	ケガしないと思う	2-3日の休養不良

A	B	C	D
発見し出した危険の評価	対策案を実施したら	対策案に対する危険の評価	最終決定
高線の高線 危険の危険 使用の使用	危険の危険 対策の対策	対策の危険 その危険の程度	最終決定 費用選択
1. 草刈り × ○ △	2. 草刈り × ○ ○	3. 草刈り △ ○ △	4. 草刈り △ ○ △

# 背負い式 草刈の実施



右側にメインハンドル、左側にサブハンドルが疲れが少ない  
背負い式の場合に背負いやすく、①エンジン、②腰に負担が掛り痛く疲れやすい、③重さで、排水の下を切る時に、つんのめって転落します

# ヒヤリ、ハット事例集 1/2

状況	危険な状況	発生した原因	結果
刈り始め	水田に水が溜る	水田に水が溜る	足が滑り倒れ、腰を痛めた
刈り進む	草が伸びる	草が伸びる	刈り進む時に、刈り機が倒れ、手を打った
刈り進む	草が伸びる	草が伸びる	刈り進む時に、刈り機が倒れ、手を打った

# 草刈法面の対策を選ぶ

評価	ケガをした時の重傷度	危険回避の頻度	ケガをする可能性
×	死亡・重傷	頻繁にヒヤヒヤする	確実にケガする
△	中程度のケガ・病気	あるヒヤヒヤした	ケガするかもしれない
○	打ち身や少し腫り傷すり傷、ほとんどないヒヤヒヤとしない	ケガしないと思う	2-3日の休養不良

A	B	C	D
発見し出した危険の評価	対策案を実施したら	対策案に対する危険の評価	最終決定
高線の高線 危険の危険 使用の使用	危険の危険 対策の対策	対策の危険 その危険の程度	最終決定 費用選択
1. 草刈り × ○ △	2. 草刈り × ○ ○	3. 草刈り △ ○ △	4. 草刈り △ ○ △

# (棒式) 草刈の実施



刈刃が水平移動出来る横に、右側へは右足から、左側へは左足から横へ踏み出す  
右側は左に体を入れ刈り込んだ時にすり足で右足を踏み出し、右に戻した時に左足を踏み出す  
大きく振り回すと早く疲れる  
立木は反動を受けやすい

# ヒヤリ、ハット事例集 2/2

状況	危険な状況	発生した原因	結果
刈り進む	草が伸びる	草が伸びる	刈り進む時に、刈り機が倒れ、手を打った
刈り進む	草が伸びる	草が伸びる	刈り進む時に、刈り機が倒れ、手を打った

# 手を離すと減速します



草刈について、は農機一般機を参照して下さい

[http://www.nrfi.go.jp/saisan/saishisaisi\\_kakakakanzengou/1\\_1\\_kusakari\\_ki\\_2.pdf](http://www.nrfi.go.jp/saisan/saishisaisi_kakakakanzengou/1_1_kusakari_ki_2.pdf)



# 5. 台車の使用と危険防止



## 運搬の注意

- ⑥積み上げると前方が見えず、進路の誤り・障害物が見えずに衝突の可能性が高まります
- ⑤大きな箱は、旋回の空気抵抗により上部が不安定になり、風を受けると倒れ易くなります
- ⑦刈配の有る所は台車が高い所へ動こうとします。フレーキの掛る物が車輪止めを使用します

## 安全は常に、品質は一番に

- 常に安全を意識して、
- 整理・整頓・清掃・清潔そして美で良い状態を維持して頂く
- そこからはつきりした基準による良い品質のものが出来ます

## 台車の荷の落ち方 1/2

- ③小さな段差があると、減速と荷の浮き上がり、荷の勢いによりナイターシヤで前に移動し、荷の重心が前輪の中心より前に行き落ちる
- ①重心が前寄りに成り、後輪に荷重が掛からない
- ②スピードを出すと偏芯後輪に横振れが起きる

## 台車の荷の落ち方 2/2

- ④急な回転は、荷に横方向の力が掛かり、後輪の偏芯により重心は外側へ移動し、荷の重心Gは内側に入り、ここで蛇行すると荷の慣性で重心が中心より外に向かい倒れる
- 大きな荷は、一旦停止してから方向を変え前進する

## 手押し台車 作業手順書 1/2

作業内容	作業要領	処所
台車の準備	保護具(手袋、安全靴)を予防に着用する 運搬重量・大きさによって道路や置き場所の下見する 使用前後点検 固定具の破損がない 故障を見つけたら修理し使用可能にして使用する	急所 ①荷の場で、すれて手を切る ②先へ落下する ③濡れた手は取れず、手の油汚れは取き取る
台車へ荷を載せる	荷の所へ移動する 台車を固定(フレーキ掛け、車輪止め等)する 積み荷をまとめて持ちあげ重さを確認し積み上げる 傾き数を決める 一人の積み込みは20kg以下を目安に、腰を落としかけて持ち上げる。 二人作業はマイムツを合わせる 重い物は下に、軽の荷みせず、目線より上には積まない。 い、後輪に荷重が掛かる様、荷はハンドルに近づけて置き、必要に応じて固定する 動かしづらい時はその場で荷をうつろす	急所 ①荷の場で、すれて手を切る ②先へ落下する ③濡れた手は取れず、手の油汚れは取き取る
台車から荷を下ろす	台車を固定(フレーキ、車止め等)する 荷降ろしは上から下ろし、中抜きしない 荷の積み上げ高さを以下にする フレーキを解除し、取降場所へ移動する 動かないよう固定してお(フレーキ掛け、) 取降場所にて、使用できるように置く	急所 ①濡くなる。 ②力を入れる。 ③動いてはめくれず ④ぶつかり、挟まれる ⑤ぶつかり、挟まれる ⑥ぶつかり、挟まれる ⑦ぶつかり、挟まれる

## 5S どのように進めるか

- 毎朝、床清掃をする。(仕事が終わった後も)
- 同じ種類のものを1箇所に集める。
- 特徴をとらえて分類する。(高さ・幅・重量・形)
- 品名、特徴を表示する。
- それらを一週間間隔で整頓する。(再分類)
- 表示と物を一致させる。(湿ごった物を取り出す)
- 必要量、一定量を超えたら整理する。(捨てる)
- これらを習慣にする。(躰)

## 手押し台車 作業手順書 2/2

作業内容	作業要領	処所
台車から荷を下ろす	台車を固定(フレーキ、車止め等)する 荷降ろしは上から下ろし、中抜きしない 荷の積み上げ高さを以下にする フレーキを解除し、取降場所へ移動する 動かないよう固定してお(フレーキ掛け、) 取降場所にて、使用できるように置く	急所 ①濡くなる。 ②力を入れる。 ③動いてはめくれず ④ぶつかり、挟まれる ⑤ぶつかり、挟まれる ⑥ぶつかり、挟まれる ⑦ぶつかり、挟まれる
台車へ荷を載せる	荷の所へ移動する 台車を固定(フレーキ掛け、車輪止め等)する 積み荷をまとめて持ちあげ重さを確認し積み上げる 傾き数を決める 一人の積み込みは20kg以下を目安に、腰を落としかけて持ち上げる。 二人作業はマイムツを合わせる 重い物は下に、軽の荷みせず、目線より上には積まない。 い、後輪に荷重が掛かる様、荷はハンドルに近づけて置き、必要に応じて固定する 動かしづらい時はその場で荷をうつろす	急所 ①荷の場で、すれて手を切る ②先へ落下する ③濡れた手は取れず、手の油汚れは取き取る

## 富山県 南砺市の紹介

http://nabi-nanto.jp/



「なんた市 観光」で検索  
http://www.nabi-nanto.jp/event/



井浜よいやさ  
9月1日  
9月2日  
9月3日  
9月4日  
9月5日  
9月6日  
9月7日  
9月8日  
9月9日  
9月10日  
9月11日  
9月12日  
9月13日  
9月14日  
9月15日  
9月16日  
9月17日  
9月18日  
9月19日  
9月20日  
9月21日  
9月22日  
9月23日  
9月24日  
9月25日  
9月26日  
9月27日  
9月28日  
9月29日  
9月30日